

第68回関東甲信越理容競技大会
(第66回東京都理容競技大会)
競技要項

- 【日時】 令和6年6月11日(火) 午前9時 開場予定
【会場】 大田区産業プラザP i o
【主催】 全理連関東甲信越協議会
【実行】 東京都理容生活衛生同業組合

【大会要項】

1. 日 時 令和5年6月11日(火) 10時00分 競技スタート 予定
2. 会 場 大田区産業プラザP i o
大田区南蒲田1-20-20 電話03-3733-6600
主な交通機関 京浜急行電鉄「京急蒲田駅」徒歩3分
JR京浜東北線・東急電鉄池上線、多摩川線「蒲田駅」徒歩13分

3. 競技種目

- 1 部 クラシカルフリースタイル
クラシカルな雰囲気を取り入れた、今を感じるさせるデザイン。
- 2 部 レディス・クリエイティブヘア
未来や過去をオマージュした、創造性を感じさせるトータルコーディネートスタイル。
- 3 部 Hair Creation-2024 ラ・ソアー(高く舞い上がる)
「Soar」(ソアー)が提案するパーソナルファッションを表現した、若年層がターゲットのヘアスタイル。
- 4 部 坊っちゃん・マドンナカットの2作品
サロンヘア向きの「令和」の坊っちゃん刈り、マドンナカット。
- 5 部 ヘアピース (アデランスカップ)
ヘアカラーを施したファッション性のあるサロンスタイル。
- 6 部 クラシカルカット・ドライヤーセット
クラシカルスタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に十分な刈り上げ(ボカシ)があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。
- 7 部 フリーデザイン・ボブカット
段差のないボブスタイルで、カットラインとバランスの美しさを表現する。
- 8 部 クラシカルバックバリエーションセット (学生競技)
伝統的なクラシカルカットによるデザイン性を備えたスタイル。

4. 競技時間

- | | | |
|-----|-----------------------------------|----------------------|
| 1 部 | クラシカルフリースタイル | カット・スタイリング35分 |
| 2 部 | レディス・クリエイティブヘア | カット・スタイリング35分 |
| 3 部 | Hair Creation-2024 ラ・ソアー(高く舞い上がる) | ブロッキング・カット・スタイリング35分 |
| 4 部 | 坊っちゃん・マドンナカットの2作品 | カット・スタイリング35分(2作品作成) |
| 5 部 | ヘアピース (アデランスカップ) | カット・スタイリング35分 |
| 6 部 | クラシカルカット・ドライヤーセット | 45分 |
| 7 部 | フリーデザイン・ボブカット | 45分 |
| 8 部 | クラシカルバックバリエーションセット(学生競技) | 30分 |

5. モデル

(1)各部門とも下記に規定されたものとし、選手同伴とする。

- 1 部 クラシカルフリースタイル
- ①モデルはメンズマネキン。
 - ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3cm以上カットできるモデルであること。
 - ③カラー以外の薬液処理がされていないモデルであること。
- 2 部 レディス・クリエイティブヘア
- ①モデルはレディスマネキン。
 - ②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3cm以上カットできるモデルであること。
- 3 部 Hair Creation-2024 ラ・ソアー(高く舞い上がる)

①モデルはマネキン。メンズ、レディースは問わない。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm以上カットできるモデルであること。

4部 坊っちゃん・マドンナカット

①モデルはメンズ、レディースのマネキン。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm以上カットできるモデルであること。

5部 ヘアピース (アデランスカップ)

①モデルはメンズマネキン。フロント(前額髪際線)から事前に剃毛しておくこと。

②ヘアピースは(株)アデランス提供のものを使用し、ヘアピースの髪の長さ15 cm以上あること。

③ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm以上カットできること。

6部 クラシカルカット・ドライヤーセット

①モデルはメンズマネキン、トップ(頭頂部)が8 cm以上あること。

②ヘアは総体的にブラント状態が確認でき、2 cm以上カットできるモデルであること。

③アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。

④事前のテーパーカットは不可とし、毛が梳かれてない状態であること。

⑤ヘアカラーは自由(但し、単一色であること)。

7部 フリーデザイン・ボブカット

①モデルはレディースマネキン。

②ネックラインが10 cm以上ある水平なラインのオールワンレングスに、事前カットされていること。

③カットは総体的に2 cm以上カットできるモデルであること。

④事前のテーパーカットは不可とし、毛髪が梳かれてない状態であること。

⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。

⑥ヘアカラーは自由。

8部 クラシカルバッグバリエーションセット (学生競技)

①モデルはメンズマネキン。

②カットは、事前に済ませておくこと。

③アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。

④ヘアカラーは自由。

(2) 競技出場前の所定の時間に集合し、選手受付後、首にゼッケン番号を貼付したマネキンを選手がモデル審査会場に搬入し、モデル審査を受けるものとする。1～5部衣装を付けない状態でモデル審査を受けること(ヘアピース部門はヘアピースを装着した状態でモデル審査を受けること)。

(3) 洗髪後の乾燥した状態で、頭部全体のいずれか的一部分(約2cm²)の毛髪3cmのカットをモデル審査委員より受け、その後、毛髪を十分に濡らすものとする。但し、第4部門のモデルについては毛髪を濡らさないこと。

(4) マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

(5) マネキン設置後は、モデルと選手は接触できないものとする。

(6) メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

(7) モデル審査において疑義のあった場合、選手は入場後アテンションカードにより競技エリア内で伝達される。

6. 選手数

選手数は各組合の割り当てはなし。

7. 出場資格

関東甲信越協議会内の組合員及びその従業員である理容師とする。

第6～7部門については、理容師免許取得6年以下で各組合が認める理容師養成施設校の理容科生徒（生徒の年齢制限はなし）も出場可能とする。

第8部については、関東甲信越協議会内にある組合が認める養成施設校の理美容学生とする。

※学生以外は必ず勤務する店舗を管轄する保健所に登録されている組合員及び従業員であること

8. 出場制限

出場は1人1部門とする。

9. 表彰

個人賞 上位8名（優勝、2位、3位、敢闘賞5名）の表彰を基本とする。但し、出場選手数により増減する。

10. 派遣（東京都組合所属）

出場した東京都組合所属選手の内、1部、2部、3部、各上位4名と4部、5部上位者1名を全国理容競技大会（愛媛大会）に計14名を派遣する。

※他県選手の派遣に関しては、各県の規定による。

11. 大会出場料

大会出場料は、選手1名につき8,000円とする。学生部門は3,000円とする

12. 申込締切日

令和6年4月30日（火） 東京都組合に必着のこと。なお、締切日以降は受け付けない

申込先 〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-26-7

東京都理容生活衛生同業組合 関信越大会係

【 競 技 要 項 】

1. 競技種目及び審査に関する事項

1部 クラシカルフリースタイル

クラシカルな雰囲気を取り入れた、今を感じるさせるデザイン。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①カットは総体的に3cm以上行うこと。

②男性らしいフォルムに似合わせたデザイン性を感じさせるスタイルであること。

③ヘムラインは男性らしいシャープな仕上がりで、バックには鮮やかな色彩を施すこと。

④ヘアカラーは黒のほか2色以内にする。

⑤競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにマネキンを装着すること。（クランプは持参すること）。

(2) 競技時間 カット・スタイリング35分（但し、開始15分以内にスタイリングに入ってはならない）。

(3) 用 具 自由。（但し、ミニクリッパー、トリマーは使用不可）

(4) 整 髪 料 自由。

(5) 衣 装 マネキンにはヘアデザインに合わせた衣装を、競技終了後に設ける1分間の衣装着用時間内に着用させること。

(6) 禁止事項

①競技時間開始前にマネキンヘッドに触れること。

②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること（ヘアピース部門のヘアピースを除く）。

③カラスプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。

④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

2部 レディス・クリエイティブヘア

未来や過去をオマージュした、創造性を感じさせるトータルコーディネートスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①カットは総体的に3cm以上行うこと。

②未来や過去をオマージュした、創造性を感じさせるヘアスタイルであること。

③ヘアデザインに合わせ、メイク・衣装をトータルコーディネートすること。

④競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにマネキンを装着すること。(クランプは持参すること)。

(2) 競技時間 カット・スタイリング35分(但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用具 自由。

(4) 整髪料 自由。

(5) 衣装 マネキンにはヘアデザインに合わせた衣装を、競技終了後に設ける1分間の衣装着用時間内に着用させること。

(6) 禁止事項

①競技時間開始前にマネキンヘッドに触れること。

②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること(ヘアピース部門のヘアピースを除く)。

③カラスプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。

④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

3部 Hair Creation—2024 ラ・ソアー(高く舞い上がる)

「Soar」(ソアー)が提案するパーソナルファッションを表現した、若年層がターゲットのヘアスタイル

1. 競技規定

(1) 競技規定

①カットは総体的に3cm以上行うこと。

②「Soar」(ソアー)が提案するパーソナルファッションを表現した、若年層がターゲットのヘアスタイルを表現すること。

イ)メンズAWは、ラウンドにシェーブされたフォルムとツーブロックカット、スパイラルパーマ、

ノーパートスタイリングのバランスを表現すること。

ロ)レディスSSは、ラウンドにシェーブされたフォルムとスパイラルパーマ、ノーパートスタイリングのバランスを表現すること。

③「Soar」(ソアー)が提案するブロッキングを必ず行うこと。

④「Soar」(ソアー)が提案するパーマが施されていること。

⑤「Soar」(ソアー)が提案するヘアカラーが施されていること。

⑥競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにマネキンを着用すること。(クランプは持参すること)。

(2) 競技時間 ブロッキング・カット・スタイリング35分

(ブロッキング3分、インターバル1分、カット・スタイリング31分)。

但し、カット開始後24分以内にスタイリングに入ってはならない。

(3) 用 具 自由(但し、クリッパー、ヘアブラシ、ヘアアイロンの使用は禁止)。

(4) 整 髪 料 自由。

(5) 衣 装 マネキンには「Soar」(ソアー)のコンセプトに合わせた衣装を、競技終了後に設けられる1分間の衣装着用時間内に着用させること。

(6) 禁止事項

①競技時間開始前にマネキンヘッドに触れること。

②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること(ヘアピース部門のヘアピースを除く)。

③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。

④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

4部 坊っちゃん・マドンナカットの2作品

サロンヘア向きの「令和」の坊っちゃん刈り、マドンナカット。

1. 競技規定

(1) 競技規定

①競技は坊っちゃんヘアから入り、次にマドンナカットに入る。なお、カットは総体的に3cm以上行うこと。

②創造性のある、令和の時代のメンズまたはレディススタイルで、サロンヘアであること。

③競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプに坊っちゃん、マドンナカットのマネキンをそれぞれ装着すること。

(クランプは持参すること)。

(2) 競技時間 坊っちゃん、マドンナのメンズ、レディスの2スタイルを35分

(但し、開始15分以内にマドンナカットに入ってはならない)。

(3) 用 具 自由。

(4) 整 髪 料 自由。

(5) 衣 装 マネキンにはヘアデザインに合わせた衣装を、競技終了後に設けられる2分間の衣装着用時間内に着用させること。

(6) 禁止事項

- ①競技時間開始前にマネキンヘッドに触れること。
- ②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること(ヘアピース部門のヘアピースを除く)。
- ③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

5部 ヘアピース (アデランスカップ)

ヘアカラーを施したファッション性のあるサロンスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①カットは総体的に3cm以上行うこと。但し、もみあげは事前にカットできる。
- ②ヘアカラーを施したファッション性のあるサロンスタイル。
- ③ヘアカラーは黒・白・ブラウン・シルバー・ブロンドの中から最大で3色までとする。
- ④競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにマネキンをそれぞれ装着すること。(クランプは持参すること)。

(2) 競技時間 カット・スタイリング35分(但し、開始15分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3) 用 具 自由。

(4) 整 髪 料 自由。

(5) 衣 装 マネキンにはヘアデザインに合わせた衣装を、競技終了後に設けられる1分間の衣装着用時間内に着用させること。

(6) 禁止事項

- ①競技時間開始前にマネキンヘッドに触れること。
- ②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること(ヘアピース部門のヘアピースを除く)。
- ③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

2. 審査の基準

作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、アテンションカードにより選手入場後、競技エリア内で伝達する。

6部 クラシカルカット・ドライヤーセット

クラシカルスタイルに梳かされ、シルエットは全体にスクエアラウンドであり、後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついているスタイル。

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①モデルはマネキン（メンズウィッグ）であり、毛髪の長さはトップ（頭頂部）が8 cm以上あること。
- ②カットは総体的に2 cm以上行うこと。
- ③アイロン・パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ④事前のテーパーカットは不可とし、毛髪が梳かれていない状態であること。
- ⑤ヘアカラーは自由（但し、単一色であること）。

(2) 競技時間 45分（但し、25分以内にセットに入ってはならない）。

(3) 用具 自由（但し、アイロンは除く）。

(4) 整髪料 自由。

(5) 禁止事項

- ①アイロン及びコームドライヤーの使用。
- ②ヘアカラー以外の薬液処理。
- ③マネキンに目印等を付けること。
- ④理容師免許取得6年以下（平成30年4月以降に免許を取得した者）でない場合。
- ⑤その他全国大会種目における禁止事項

2. 審査の基準

- ①シルエットはスクエアラウンドで、クラシカルスタイルにとかされているかをみる。
- ②後頭下部に十分な刈り上げ（ボカシ）があり、はっきりとしたネックラインがあるかをみる。
（ツープロックは不可）

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

7部 フリーデザインボブカット

段差のないボブスタイルで、カットラインとバランスの美しさを表現する

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①モデルはマネキン（レディスウィッグ）。
- ②ネックラインが10 cm以上ある水平なラインのオールワンレングスに、事前カットされていること。
- ③カットは総体的に2 cm以上行うこと。
- ④事前の前髪を作ること及びテーパーカットは不可とし、毛髪が梳かれてない状態であること。
- ⑤アイロン、パーマ等の形跡のない直毛であること。
- ⑥ヘアカラーは自由。
- ⑦ツープロック不可。
- ⑧アウトバストリートメント可。

(2) 競技時間 カット・セット45分（時間配分は自由）。

(3) 用具 自由（但し、セニングシザー不可、

セット用具はコーム、ブラシ、ハンドドライヤー、ストレートアイロンのみとする）。

(4) 整髪料 一切不可。

(5) 禁止事項

- ①ヘアカラー以外の薬液処理がされている場合もしくは行った場合。
- ②整髪料を使用すること。
- ③マネキンに目印等を付けること。
- ④理容師免許取得6年以下（平成30年4月以降に免許を取得した者）でない場合。
- ⑤その他全国大会種目における禁止事項

2. 審査の基準

- ①バランスの良い綺麗なカットのスタイルであるかをみる。
- ②美しいボブスタイルをセットで仕上げているかをみる。

3. モデル審査

大会要項の5. モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

8部 クラシカルバックバリエーションセット

伝統的なクラシカルカットによるデザイン性を備えたスタイル

1. 競技規定

(1) 競技規定

- ①メンズマネキンを使用し、伝統的なクラシカルカットによるデザイン性を備えたスタイルであること。
- ②後頭下部に刈り上げ(ボカシ)があり、耳周りおよびネックラインがはっきりついていること。
- ③フロントのデザインは、自由とする。ただし、トップからバックにかけてつながりがあり、全てのアウトラインはクラシカルであること。
- ④競技開始時には水ぬらしをしたうえで根元から毛先までコーミングを行い、全頭をオールバックに梳かした状態で競技開始の合図を待つこと。

(2) 競技時間 30分

(3) 用具 クラシカルバックバリエーションセットに必要な用具を持参する。

ダックカールクリップの使用は可とする

(4) 整髪料 自由

(5) 禁止事項

- ①ヘアカラー以外の薬液処理をしてはならない。
- ②ヘアアイロン、ネットまたはパネル(材質問わず)状の用具を使用してはならない。
- ③衣装およびヘアアクセサリを使用してはならない。
- ④ドライヤーは1kwを超えて使用してはならない。
- ⑤マネキンやクランプ等に目印となるものを付けてはならない。
- ⑥その他、全国理容技術大会種目における禁止事項。

(6) 競技開始の状態

水ぬらしをしたうえで根元から毛先までコーミングを行い、全頭をオールバックに梳かした状態とする。

2. 審査の基準

- ①メンズマネキンを使用し、伝統的なクラシカルカットによるデザイン性を備えたスタイルであること。
- ②全てのアウトラインがクラシカルで、トータルの(スタイル・フロントデザイン・カラー等)に

調和が取れているかをみる

③後頭下部に十分な刈り上げ(ボカシ)があり、はっきりとしたネックラインがあるかをみる。

(ツープロックは不可)

3. モデル審査

大会要項 5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかを見る。

刈布・タオルの取り扱い

各部門ともすべて刈布、タオルの使用は自由。使用する場合は競技開始の合図後につけること。

3. 失格事項（各部門共通）

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

- (1) 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- (2) 競技時間を超過した場合。
- (3) 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- (4) 競技終了後、修正を行った場合。
- (5) モデル審査を受けていないモデルを使った場合。
- (6) モデルに傷を与えた場合。
- (7) 各部門共通禁止事項を守らない場合。
- (8) 刈布、タオルをつけていない場合。
- (9) 競技完了の表示を行わなかった場合。
- (10) 監視委員の指示に従わなかった場合。

4. タイム及び競技完了の表示（各部門共通）

- (1) タイムは10分毎に知らせ、最後の10分間は（10分前、5分前、3分前、2分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前、5、4、3、2、1、タイム）と知らせる。
- (2) 各部門ともすべて競技完了の表示は、刈布、タオルを外し、モデルを審査用のテーブルクランプに移動し、モデルから一歩後方に退いた後、手を挙げて行うこと。

【選手の留意事項】

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
2. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を遵守すること。
3. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオルを使用する場合は持参すること。
4. モデルは競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けなければならない。マネキン競技は、衣装を付けない状態でモデル審査を受けること。
5. モデル審査の結果に不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
6. 選手のテーブル番号は大会当日、発表する。
7. 選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
8. 選手は大会当日の「表彰式」にユニフォームを着用し、参加すること。
9. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合は競技会場において技術監視委員又は技術審査委員に申告すること。

10. 器具は床の上に置かないこと。
11. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。
12. ドライヤーは1000w以下とすること。
13. 選手が使用出来る電源口(コンセント)は一つとする。
14. 選手受付及びモデル審査に遅刻した場合は減点する。
15. 持参器具等の管理に留意すること。盗難等の場合、主催者側では責任を負いませんので各自が責任を持つこと。
16. 各部門の事前審査は頭部を水スプレーにて充分濡らして行う。
17. 審査の結果に対し一切の異議を申し立てないこと。
18. 理容業の消毒衛生に基づき、選手は競技中に用具を落とした場合、挙手をし、監視委員の指示に従うこと。

各部門、フロンガス入りスプレーの使用を禁止する。

カラスプレー、カラーパウダー及び、それに類似するものの使用は禁止する。

※会場仕様

- 電源タップ(1000W以内)使用可能

※後日、出場資格違反が判明した場合は、入賞者の栄誉を剥奪され、その際選手の異議は受け付けません。

この場合次点選手が繰上げ入賞となり、E・t・o・c・oタイムス紙上に公表いたします。

問い合わせ先

東京都理容生活衛生同業組合

☎161-0033

東京都新宿区下落合 4-26-7 ☎ 3954-8291 FAX3954-8331

Eメール: kyoiku@tokyo-riyo.or.jp